

森村泰昌 略歴

1951年 大阪市生まれ
大阪市在住

個展

2017	「Yasumasa Morimura. The history of the self-portrait」プーシキン美術館（モスクワ、ロシア）
2016	「森村泰昌：自画像の美術史―「私」と「わたし」が会うとき」国立国際美術館（大阪）
2014	「Theatre of the Self」アンディ・ウォーホル美術館（ピッツバーグ、アメリカ） 「LAS MENINAS RENACEN DE NOCHE 森村泰昌展 ベラスケス頌：侍女たちは夜に甦る」資生堂ギャラリー（東京） 「森村泰昌 レンブラントの部屋、再び」原美術館（東京）
2014-13	「アーカイブ、それから」佐賀町アーカイブ（東京） 「美術史としての私[抄]」札幌宮の森美術館（札幌）
2012	「森村泰昌 モリエンナーレ/まねぶ美術史」北九州市立美術館分館（北九州） 「美術史への誘い」三菱地所アルティウム（福岡） 「森村泰昌 モリエンナーレ まねぶ美術史」静岡市美術館（静岡） 「REQUIEM FOR THE XX CENTURY Self-Portraits in Motion」Ikkan Art Gallery（シンガポール）
2011-12	「A requiem: Art on top of the Battlefield」ガレリア・フアナ・デ・アイスプルア（マドリッド、スペイン） 「新作展 『絵写 The KIMONO』」高島屋新宿店 /高島屋東京店（東京）/高島屋大阪店（大阪）
2011	「肖像経済、その他」BLD ギャラリー（東京） 「その他のチカラ。 -森村泰昌の小宇宙-」兵庫県立美術館（兵庫）
2010-11	「なにものかへのレクイエム-戦場の頂上の芸術」東京都写真美術館（東京）/豊田市美術館（愛知）/広島市現代美術館（広島）/兵庫県立美術館（兵庫） 「森村泰昌 モリエンナーレ/まねぶ美術史」高松市美術館（香川）/ふくやま美術館（広島）
2010	「なにものかへのレクイエム：外伝」シュウゴアーツ（東京） 「その他のチカラ。森村泰昌の小宇宙」兵庫県立美術館（兵庫）
2009	「森村泰昌 美に至る病 -女優になった私」島根県立石見美術館（島根） 「森村泰昌展 魔舞裸華視」エブソンイメーシングギャラリー エブサイト（東京）
2008	「REQUIEM POR EL SIGLO XX」ガレリア・フアナ・デ・アイスプルア（マドリッド、スペイン） 「森村泰昌：20世紀へのレクイエム/ 荒ぶる神々の黄昏」ギャラリー・タデウス・ロバック（パリ、フランス）
2007	「Requiem for the 20 century, Twilight of the Turbulent Gods」ベヴィラクア財団（ヴェネチア、イタリア） 「Yasumasa Morimura: Reflections」John Michael Kohler Arts Center, Sheboygan（ウィスコンシン、アメリカ） 「On Self-Portrait: Through The Looking-Glass」REFLEX NEW ART GALLERY（アムステルダム、オランダ） 「森村泰昌 1985-1998 Selected Works from Soh Gallery」日本橋高島屋 /新宿高島屋（東京） 「荒ぶる神々の黄昏/なにものかへのレクイエム・其の弐」シュウゴアーツ（東京）

ShugoArts

	<p>「森村泰昌：美の教室、静聴せよ」熊本市現代美術館（熊本） / 横浜美術館（神奈川）</p> <p>「森村泰昌：20世紀へのレクイエム/ 荒ぶる神々の黄昏」Galleria di Piazza San Marco（ヴェネツィア、イタリア） / ルーリン・オーガスティン・ギャラリー（ニューヨーク）</p>
2006	<p>「An Inner Dialogue with Frida Kahlo」Gary Tatintsian Gallery, Inc.（モスクワ、ロシア）</p> <p>「烈火の季節/ なにものかへのレクイエム・その壺」シュウゴアーツ（東京）</p> <p>「森村泰昌展☆星男」高知市文化プラザ（高知）</p>
2005-06	<p>「ポスト・ジェンダー」Tikotin Museum for Japanese Art（イスラエル）</p> <p>「森村泰昌『卓上のバルコネグロ』」ナディッフ（東京）</p>
2005	<p>「諷刺家伝 - ゴヤに捧ぐ」シュウゴアーツ（東京） / ギャラリー・タデウス・ロパック（パリ、フランス） / ルーリン・オーガスティン・ギャラリー（ニューヨーク、アメリカ） / ガレリア・フアナ・デ・アイスプルア（マドリッド、スペイン）</p> <p>「森村泰昌『フェルメールの部屋』～大きな物語は小さな部屋の片隅に現れる～」MEM（大阪）</p> <p>「自分をめぐる物語・森村泰昌のセルフポートレイト」砺波市美術館（富山）</p>
2003	<p>「華麗 de Scope～森村泰昌の多面体～」大阪成蹊大学芸術学部附属ギャラリー Space B（大阪）</p> <p>「森村泰昌写真展 卓上のバルゴネグロ」MEM（大阪）</p> <p>「森村泰昌 アーティストの宝物」シュウゴアーツ（東京）</p>
2002	<p>「Self-Portraits:An Inner Dialogue with Frida Kahlo」ガレリア・フアナ・デ・アイスプルア（マドリッド、スペイン）</p> <p>「A Photographic Show of Murmur and Hum」Bunkamura ギャラリー（東京）</p> <p>「Inside the Studio, Yasumasa Morimura」Japan Society（ニューヨーク、アメリカ）</p> <p>「Self-Portraits」Ca di Fa（ミラノ、イタリア） / サイト・サンタフェ（ニューメキシコ、アメリカ）</p> <p>「森村泰昌写真展 女優家 M の物語 [M 式ジオラマ(25m)付き]」川崎市民ミュージアム（神奈川）</p>
2001	<p>「森村泰昌のセルフポートレイト フリーダからの贈り物」KPO キリンプラザ大阪（大阪）</p> <p>「私の中のフリーダ/ 森村泰昌のセルフポートレイト」原美術館（東京） / ギャラリー・タデウス・ロパック（パリ、フランス） / ルーリン・オーガスティン・ギャラリー（ニューヨーク）</p> <p>「森村泰昌 百のポラロイド」ライスギャラリー by G2（東京） / シュウゴアーツ（東京）</p> <p>「森村泰昌写真展—女優家 M の物語」えき KYOTO（京都）</p> <p>「森村泰昌写真展—セルフポートレイト、そして風景—」“glaf” bld./ MEMInc.（大阪）</p>
2000	<p>「Art History-Yasumasa Morimura」テレフォニカ財団エキジビットスペース（スペイン）</p> <p>「名前を持たぬ時間、名前を持たぬ私」チュラロンコン大学（バンコク、タイ）</p>
1999	<p>「ブロンズ完成記念展」永井画廊（東京）</p> <p>ホワイトキューブ（ロンドン、イギリス）</p> <p>「Daughter of Art History」ルーリン・オーガスティン・ギャラリー（ニューヨーク、アメリカ）</p>
1998	<p>「Morimura」Studio Guenzani（ミラノ、イタリア）</p> <p>「ギャラリー・コレクション・ショー：写真編 森村泰昌」佐谷画廊（東京）</p> <p>「森村泰昌—新作展—」双ギャラリー（東京）</p> <p>「森村泰昌 [空装美術館] 絵画になった私」東京都現代美術館（東京） / 京都国立近代美術館（京都） / 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川）</p>
1997	<p>「Yasumasa Morimura」ホワイトキューブ（ロンドン、イギリス） / ギャラリー・タデウス・ロパック（パリ、フランス） / アート・アンド・パブリック（ジュネーブ、スイス）</p> <p>「森村泰昌展—心臓（こころ）を着る—」双ギャラリー（東京）</p> <p>「森村泰昌—モノクローム—」双ギャラリー（東京）</p>

ShugoArts

	「森村泰昌: Actor/Actress」 ヒューストン現代美術館（ヒューストン、アメリカ）
1996	「Actress and Art History」 現代写真センター（メルボルン、オーストラリア） 「森村泰昌一手一」 双ギャラリー（東京） 「森村泰昌展一女優シリーズより一」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川） 「空装美術館 1~3」 西田画廊（奈良） 「写楽四態」 双ギャラリー（東京） 「女優シリーズを中心にして」 双ギャラリー（東京） 「ヴァン・ゴッホからマリリンまで」 佐谷画廊（東京） / ルーリン・オーガスティン・ギャラリー（ニューヨーク、アメリカ） 「森村泰昌 美に至る病一女優になった私」 横浜美術館（横浜） / ルーリン・オーガスティン・ギャラリー（ニューヨーク、アメリカ）
1995	「『美に至る病』のための前奏曲」 双ギャラリー（東京） 「森村泰昌展一足一」 双ギャラリー（東京）
1994	「森村泰昌展一顔一」 西田画廊（奈良） 「森村泰昌展一顔一」 双ギャラリー（東京） 「森村泰昌展 レンブラントの部屋」 原美術館（東京） 「Yasumasa Morimura Psychoborg」 ザ・パワー・プラント（トロント、カナダ） / ワルター・フィリップスギャラリー / バンプ美術センター（アルバータ、カナダ） 「サイコ・ボーグ マドンナ・マイケル・モリムラの関係」 ザ・ギンザ・アートスペース（東京）
1993	「美に至る病 其の一~五」 西田画廊（奈良） 「9つの顔」 カルティエ現代美術財団（フランス） / ジョイ・アン・ジョザース（フランス）
1992	「森村泰昌 スカルプチャーズ」 佐谷周吾美術室（東京） 「Yasumasa Morimura」 シカゴ現代美術館（シカゴ、アメリカ） 「OPTIONS44:Yasumasa Morimura」 カーネギー美術館（ピッツバーグ、アメリカ）
1991	ルーリン・オーガスティン・ギャラリー（ニューヨーク、アメリカ） トマス・シーガル・ギャラリー（ボストン、アメリカ）
1990	Nicola Jacobs Gallery（ロンドン、イギリス） 「美術史の娘」 佐賀町エキジビット・スペース（東京）
1989	「批評とその愛人」 モーリギャラリー（大阪）
1988	「マタに、テ」 ギャラリーNWハウス（東京） 「マタに、テ」 オンギャラリー（大阪）
1986	「すみれ色のモナムール、その他」 ギャラリー白（大阪）
1984	平松画廊（大阪）
1983	ギャラリーマロニエ（京都）

グループ展

2016	「Contemporary Artists vs. the Masters: Homage, Battle, Reclamation」 Brattleboro Museum and Art Center（ブラトルボロ、アメリカ） 「Photography and Film Constructs」 Ringling College of Art and Design（サラソータ、アメリカ） 「Headshots: Contemporary Photographic Portraiture」 ClampArt（ニューヨーク、アメリカ）
2015-16	「愛すべき世界」 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（香川） 「The 8 th Asia Pacific Triennial of Contemporary Art」 The Queensland Art Gallery, Gallery of Modern Art（クイーンズランド、オーストラリア）

ShugoArts

	<p>「Walkers: Hollywood Afterlives in Art and Artifact」 Museum of Moving image (ニューヨーク、アメリカ)</p> <p>「Sharaku Interpreted by Japan's Contemporary Artists」 Old City Hall (Split、クロアチア) / International Culture Center Caisa (ヘルシンキ、フィンランド) / Reykjavik City Hall (Reykjavik、アイルランド) / Ryazan Sate Regional Art Museum (Ryazanm、ロシア) / Novosibirsk City Center of Fina Arts (Novosibirsk、ロシア) / New Exhibition Hall of City Sculpture Museum (St. Petersburg、ロシア)</p> <p>「VENUS TRAP」 Sindelfingen (Sindelfingen、ドイツ)</p>
2015	<p>「Colleting and Sharing: Trevor Fairbrother, John T. Kirk, and the Hood Museum of Art」 Hood Museum of Art, Dartmouth College (ハノーバー、アメリカ)</p> <p>「シュウゴアーツ：毎週末の画廊、三宿 SUNDAY の隣」 シュウゴアーツ ウィークエンドギャラリー (東京)</p> <p>「Studio Guenzani, Milano 1986-2015: MOLTO-TUTTO」 Studio Guenzani (ミラノ、イタリア)</p> <p>「Cannibalism? On Appropriation in Art, Zacheta」 National Gallery of Art (ワルシャワ、ポーランド)</p> <p>「DON'T SHOOT THE PAINTER, Paintings from UBS Art Collection」 Galleria d'Arte Moderna (ミラノ、イタリア)</p> <p>「No Museum, No Life? - これからの美術館事典 国立美術館コレクションによる展覧会」 東京国立近代美術館 (東京)</p> <p>「高橋コレクション展 ミラー・ニューロン」 東京オペラシティアートギャラリー (東京)</p> <p>「山口小夜子 未来を着る人」 東京都現代美術館 (東京)</p> <p>「PARASOPHIA: 京都国際芸術祭 2015」 京都府京都文化博物館 (京都)</p> <p>開館 20 周年記念 MOT コレクション特別企画 「第 3 弾コレクション・ビカミング」 東京都現代美術館 (東京)</p>
2014	<p>「絵画の輪郭」 シュウゴアーツ (東京)</p> <p>「Convergences: Selected Photogprahs from the Permanent Collection」 J. Paul Getty Museum (ロサンゼルス、アメリカ)</p> <p>「Manifesta 10」 エルミターージュ美術館 (サンクトペテルブルグ、ロシア)</p> <p>「Gorgeous」 Asian Art Museum of San Francisco (サンフランシスコ、アメリカ)</p> <p>「国立国際美術館コレクション 美術の冒険 セザンヌ、ピカソから草間彌生、奈良美智まで」 新潟県立万代島美術館 (新潟) / 茨城県気団美術館 (茨城)</p> <p>「Asia Anarchy Allince」 Kuandu Museum of Fine Arts (台北、台湾)</p> <p>「In Character; Sle f Portrait of the Artist as Another」 Museum of Contemporary Canadian Art (トロント、カナダ)</p> <p>「Hyper-resemblances, Miriam and Ira D.」 Wallach Art Gallery, Columbia University (ニューヨーク、アメリカ)</p> <p>「Beauty of Darkness II」 Reflex Modern Art Gallery (アムステルダム、オランダ)</p>
2013	<p>Calendar for 2014」 アートスペース・虹 (京都)</p> <p>「20 世紀のプリントアート」 北海道立帯広美術館 (北海道)</p> <p>「写真のエステ - 5 つのエレメント」 東京都写真美術館 (東京)</p> <p>「福岡現代美術クロニクル」 福岡市美術館 (福岡)</p>
2012	<p>「現代美術二等兵 20 周年記念「テディ○○展」 MATSUO MEGUMI+VOICE GALLERY pfs/w (京都)</p>

ShugoArts

	<p>「百花繚乱 女性の情景展 一生きて行く私一」横須賀美術館（神奈川） 「ザ・大阪ベストアート展」大阪市立近代美術館 心齋橋展示室（大阪） 「コレクションの誘惑」国立国際美術館（大阪） 「Double Vision: Contemporary Art from Japan」Moscow Museum of Modern Art（モスクワ） 「画廊と『日常』出版記念展」SOH GALLERY K3（東京） 「第24回京都美術文化賞受賞記念展」京都府京都文化博物館（京都） 「PORTRAITS」東京日本橋高島屋6階美術画廊X（東京）</p>
2011	<p>「現代絵画の展望 24の時の瞳」旧新橋停車場 鉄道歴史展示室 東京ステーションギャラリー 「カレンダー for 2012」アートスペース虹（京都） 「画像進化論」栃木県立美術館（栃木） 「ふたつの太陽」シュウゴアーツ（東京） 「いつの人？どこの人？どんな人？」大阪市立近代美術館 心齋橋展示室（大阪） 「2011年 日本写真協会賞受賞作品展」富士フィルムフォトサロン（東京） 「ポップ？ポップ！ポップ♡ コレクションに見るポップなアートの50年」 和歌山県立近代美術館（和歌山） 「開館20周年記念展 画家たちの二十歳の原点」平塚市美術館（神奈川） 「第3回 梅原猛と10人のアーティスト」中信美術館（京都） 「トリックアートの世界展」高松市美術館（香川）</p>
2010	<p>「Self Portrait—私という他人」高橋コレクション日比谷（東京） 「森村泰昌 モリエンナーレ/まねぶ美術史」高松市美術館（高松） 「マイ・フェイバリット—とある美術の検索目録」京都国立近代美術館（京都） 「六本木クロッシング2010展: 芸術は可能か? -明日に挑む日本のアート-」森美術館（東京） 「ミニサイズのエキシビション」双ギャラリー（東京）</p>
2009	<p>「メリー・ゴー・ランド—煌めきと黄昏—」熊本市現代美術館（熊本） 「カレンダー for 2010」アートスペース虹（京都） 「最先端のアートの50年—アートって何?—」平野美術館（静岡） 「トリック*アートの世界」豊橋市美術博物館（愛知）ほか巡回 「MOT コレクション 夏の遊び場—しりとり、なぞなぞ、ままごと、ぶらんこ」 東京都現代美術館（東京） 「おもろいやつら—人間像で見る関西の美術」徳島県立近代美術館（徳島） 「愛についての100の物語」金沢21世紀美術館（石川） 「VISUAL DECEPTION だまし絵」名古屋市美術館（愛知）/ Bunkamura ザ・ミュージアム （東京）/ 兵庫県立美術館（兵庫） 「しんりよく! 平成20年度新収蔵品を中心に」豊田市美術館（愛知） 「アトミック・サンシャインの中へ in 沖縄」沖縄県立博物館・美術館（沖縄） 「コレクションによる全館展示 美術百科 この人はだれの巻」和歌山県立近代美術館（和歌山）</p>
2008	<p>「Asian Dub Photography」FONDAZIONE Cassa di Risparmio di Modena（イタリア） 「prospect.1 New Orleans」The U.S. Mint Louisiana State Museum, ニューオーリンズ （ルイジアナ、アメリカ） 「ヴィジョンズ オブ アメリカ 第3部『アメリカン・メガミックス』1957-1987」 東京都写真美術館（東京） 「釜山ビエンナーレ2008」Busan Museum of Modern Art（釜山、韓国） 「アトミックサンシャインの中へ『日本国平和憲法第九条下における戦後美術』」 代官山ヒルサイドフォーラム（東京） 「GOYA—LES CAPRICES」リール美術館（フランス）</p>

ShugoArts

	<p>「プラハトリエンナーレ」 プラハ・ナショナルギャラリー（プラハ、チェコ）</p> <p>「写真の美術 x 美術の写真『浪華』『丹平』から森村泰昌まで」 大阪市近代美術館（仮称）心齋橋展示室（大阪）</p> <p>「アートは心のためにある: UBS アートコレクションより」 森美術館（東京）</p>
2007	<p>「カレンダー for 2008」 アートスペース虹（京都）</p> <p>「液晶絵画 Still/Motion」 三重県立美術館（三重）/国立国際美術館（大阪）/東京都写真美術館（東京）</p> <p>「Fashion Accidentally」 台北現代美術館（台北）</p> <p>「美術百科『前衛の関西』の巻」 和歌山県立近代美術館（和歌山）</p> <p>「20世紀美術探検—アーティストたちの3つの冒険物語」 国立新美術館（東京）</p> <p>「大阪・アート・カレイドスコープ 2007」 大阪府立現代アートセンター（大阪）</p> <p>「美術館に行こう! ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」 ビュフェ美術館（静岡）</p> <p>「タイ王国・現代美術展 Show Me Thai ~みてみ☆タイ~」 東京都現代美術館（東京）</p> <p>「奏でる身体」 丸亀市猪熊弦一郎美術館（香川）</p> <p>「現代美術の基礎知識」 ハウステンボス美術館（長崎）</p> <p>「コレクション展II」 金沢21世紀美術館（石川）</p> <p>「シュルレアリスムと美術」 横浜美術館（神奈川）</p> <p>「文学の触覚」 東京都写真美術館（東京）</p>
2006	<p>「国立国際美術館開館30周年記念展 30年分のコレクション」 国立国際美術館（大阪）</p> <p>「魚のすがた展」 愛媛県美術館（愛媛）</p> <p>「広島市現代美術館コレクションによる この20年の、20のアート」 札幌芸術の森美術館（北海道）</p> <p>「和菓子アート展」 虎屋ギャラリー（東京）</p> <p>「Some People」 NEPENTE ART GALLERY（ミラノ、イタリア）</p> <p>「ポスト・デジグラフィ」 東京都写真美術館（東京）</p> <p>「トリック・アートの世界 —だまされる楽しさ」 高崎市美術館（群馬）/川越市美術館（埼玉）</p> <p>「現代美術 再読 セゾン現代美術館コレクション展」 セゾン現代美術館（長野）</p> <p>「コレクション 1」 国立国際美術館（大阪）</p> <p>「MASQUERADE: Representation and the self in contemporary art」 シドニー現代美術館（シドニー、オーストラリア）</p> <p>「大阪市立近代美術館コレクション展: こんどは現代美術!」 大阪市立近代美術館心齋橋展示室（大阪）</p> <p>「Aランチ」 AXIS GALLERY ANNEX（東京）</p>
2005	<p>「西から東から」 シュウゴアーツ（東京）</p> <p>「SALON DE KOZU 2005: 大阪府立高津高等学校美術展」 ギャラリーさんびいむ（大阪）</p> <p>「原美術館コレクション」, 原美術館（東京）</p>
2004	<p>「写真はものの見方をどのように変えてきたか・4 混沌」 東京都写真美術館（東京）</p> <p>「出会い系サイトとしての美術: 森村泰昌とともに鍛える、あなたの表現」 大阪府立現代美術センター（大阪）</p> <p>「Made in Mexico」 ボストン現代美術館（ボストン、アメリカ）</p> <p>「Disguise」 マンチェスターシティーアートギャラリー（マンチェスター、イギリス）</p> <p>「imag(in)ing the West」 Manchester Art Gallery（マンチェスター、イギリス）</p> <p>「Commodities Celebrities Death & Disaster」 Salina Art Center（カンザス、アメリカ）</p>

ShugoArts

	<p>「Confronting Tradition: Contemporary Art from Kyoto」 Smith College museum of Art (マサチューセッツ、アメリカ)</p> <p>「Camouflage, Surrogates, and Other Divisionary Tactics」 The Rachofsky House ダラス (テキサス、アメリカ)</p> <p>「巨匠のさいしょの頃」 オオタ・ファイン・アーツ (東京)</p> <p>「Marilyn: From Anastasi to Weege」 Sean Kelly Gallery (ニューヨーク、アメリカ)</p> <p>「The Pretenders」 Henry Art Gallery (シアトル、アメリカ)</p> <p>「Revisiting History. Self-Portrait Photography」 Cristinerose Josee Bienvenu Gallery (ニューヨーク、アメリカ)</p> <p>「マルセル・デュシャンと 20 世紀美術」 国立国際美術館 (大阪) / 横浜美術館 (神奈川)</p> <p>「私あるいは私 静かなる燃焼系」 ボーダレス・アートギャラリーNO-MA (滋賀)</p> <p>「コピーの時代 デュシャンからウォーホール、モリムラへ」 滋賀県立近代美術館 (滋賀)</p>
2003	<p>「夢見るタカラヅカ」 サントリーミュージアム天保山 (大阪)</p> <p>東京オペラシティ・アートギャラリー (東京)</p> <p>「ハピネス: アートにみる幸福への鍵」 森美術館 (東京)</p> <p>「Supernova: Art of the 1990s from the Logan Collection」 SFMoMA (サンフランシスコ、アメリカ)</p> <p>「Influence, Anxiety & Gratitude」 MIT List Visual Arts Center (ケンブリッジ、イギリス)</p> <p>「Constructed Realities: Contemporary Photography」 Orlando Museum of Art (オーランド、アメリカ)</p> <p>「Genomic Issue(s): Art and Science」 The Graduate Center of the City University of New York (ニューヨーク、アメリカ)</p> <p>「The History of Japanese Photography」 Museum of Fine Arts (ヒューストン、アメリカ)</p> <p>「Role Play Self-Portrait Photography」 Zabriskie Gallery (ニューヨーク、アメリカ)</p>
2002	<p>「絵画の現在」 新潟県万代島美術館 (新潟)</p> <p>「エモーショナル・サイト」 佐賀町食糧ビルディング (東京)</p> <p>「未来予想図 私の人生☆劇場」 兵庫県立美術館 芸術の館 (兵庫)</p>
2001	<p>「未完の世紀: 20 世紀がのこすもの」 東京国立近代美術館 (東京)</p> <p>「Stay with art ～眺めの良い部屋～」 HOTEL T'POINT (大阪)</p> <p>The 1st Valencia Biennale “The Body and the Sin” (バレンシア、スペイン)</p> <p>「森村泰昌と合田佐知子」 高知県立美術館 (高知)</p>
2000	<p>「ギャラリーズ デビュー」 Rice Gallery by G2 (東京)</p> <p>「Contemporary -Japanese Contemporary Art- Body and Space」 ウヤドウスキー城 (ワルシャワ、ロシア)</p> <p>「写真/絵画/平面 大阪市立美術館コレクション展 2000」 ATC ミュージアム (大阪)</p> <p>「日本美術の 20 世紀—美術が語るこの 100 年—」 東京都現代美術館 (東京)</p> <p>「子供のための美術展 2000 アートで遊ぼう・アートで学ぼう～美術のなかの国語・算数・理科・社会～」 広島市現第美術館 (広島)</p> <p>「現代美術百貨店」 山梨県立美術館 (山梨)</p> <p>「光州ビエンナーレ」 光州 (韓国)</p> <p>「モナ・リザ 100 の微笑—模倣から想像へ—」 東京都美術館 (東京) / 静岡県立美術館 (静岡)</p> <p>広島県立美術館 (広島)</p>
1999	<p>「Appearance」 現代アートギャラリー (ボローニャ、イタリア)</p>

ShugoArts

	<p>「Rosso vivo-Mutazione, Transfigurazione e sangye mell' Arte Contemporanea (Blood red, Mutation, Transfiguration and Blood in Contemporary Art)」 PAC-Padiglione d'Arte Contemporanea (ミラノ、イタリア)</p> <p>「写真表現の軌跡・第2部日本の写真: 1950年代から現代まで」東京都写真美術館 (東京)</p> <p>「日本の版画 1945 - 1999」町田市立国際版画美術館 (東京)</p> <p>「Art World in Dialogue」ルードヴィヒ美術館 (ケルン、ドイツ)</p> <p>「Regarding Beauty in Performance and the Media Arts」Hirshhorn Museum and Sculpture Garden (ワシントン、アメリカ) / Haus der Kunst (ミュンヘン、ドイツ)</p> <p>「Fame: After Photography」ニューヨーク近代美術館 (ニューヨーク、アメリカ)</p>
1998	<p>「関西の戦後美術 1950's-1990's」ギャラリー・オブ・モダンアート・ニューデリー (インド)</p> <p>「なぜ、これがアートなの？」豊田市美術館 (愛知) / 川村記念美術館 (千葉) / 水戸芸術館 (茨城)</p> <p>「森村泰昌プロデュース テクノセラピー」中之島中央公会堂 (大阪)</p>
1997	<p>「Tastes and Pursuits Japanese Art of 1990's」ニューデリー国立近代美術館 (インド) / マニラメトロポリタン美術館 (フィリピン)</p> <p>「SHASHIN」神戸ファッション美術館 (兵庫) / 三越美術館 (東京) / 福岡県立美術館 (福岡)</p> <p>「1 minute scenario」Printemps de Cahors, (サンルー、フランス)</p> <p>「sur le Mantoe」ギャラリー・タデウス・ロバック (パリ、フランス)</p>
1996	<p>「Rose is a Rose is a Rose: Gendr performance in Photography」グッゲンハイム美術館 (ニューヨーク、フランス)</p> <p>「Face and Figure in Contemporary Art」ボストン美術館 (ボストン、アメリカ)</p> <p>「Hugo Boss Prize 1996」グッゲンハイム美術館ソーホー分館 (ニューヨーク、アメリカ)</p> <p>「Invitwinner」グラスゴー現代美術館センター (グラスゴー、スコットランド)</p> <p>「Prospect '96」フランクフルト・クンストフェライン (フランクフルト、ドイツ)</p>
1995	<p>「第10回 シドニー・ビエンナーレ」(シドニー、オーストラリア)</p> <p>「戦後美術の軌跡 1945 - 1995」目黒区美術館 (東京) / 広島市現代美術館 (広島) / 兵庫県立近代美術館 (兵庫) / 福岡県立美術館 (福岡)</p> <p>「日本の現代美術 1985 - 1995」東京都現代美術館 (東京)</p> <p>「Legs of Duchamp」ウォーカー・アートセンター (ミネアポリス) / マイアミ美術センター (フロリダ、アメリカ)</p> <p>「More than Real」ロイヤルパレス (イタリア)</p> <p>「Narcissitic Disturbance」オーティス・アート・アンド・デザイン大学内オーティスギャラリー (ロサンゼルス、アメリカ)</p>
1994	<p>「ジャパン・アート・トゥデイ」ルイジアナ現代美術館 (デンマーク)</p> <p>「戦後日本の前衛美術」横浜美術館 (横浜) / グッゲンハイム美術館ソーホー分館 (ニューヨーク、アメリカ) / サンフランシスコ近代美術館 (サンフランシスコ、アメリカ)</p> <p>「Far from border」アイリッシュ近代美術館 (ダブリン、アイルランド)</p> <p>「Cocide y Crudo」レイナ・ソフィア国立美術センター (マドリッド、スペイン)</p> <p>「Inside Out: Japanese Contemporary Photography」ライト・ファクトリー・写真センター (ノースカロライナ、アメリカ)</p> <p>「Persona Cognita」ハイド近代美術館 (ブリーン、オーストラリア)</p> <p>「On Nostalgia」高島屋ギャラリー (ニューヨーク、アメリカ)</p> <p>「人間の条件」スパイラル、東京；芦屋市立美術博物館 (兵庫)</p> <p>「Bad Girls」ニューミュージアム (ニューヨーク、アメリカ)</p>

ShugoArts

1993	<p>「現代の人間像」北海道立近代美術館（北海道） 「開館記念展 ark of ART 美術の方舟」高知県立美術館（高知） 「Wit on Why; Humor in Photography」イスリブ美術館（ロングアイランド、アメリカ） 「High Impact-After Image」ナッソー・カウンティ美術館（ニューヨーク、アメリカ）</p>
1992	<p>「Dress Codes」ICA ボストン（ボストン、アメリカ） 「マルチプル」スパイラルガーデン（東京） 「彫刻の遠心力: この10年の展開」国立国際美術館（大阪） 「Quotations The Second History of Art」アルドリッヒ現代美術館（コネチカット、アメリカ） 「森村泰昌・福田美蘭によるスペイン静物画へのオマージュ」名古屋市美術館（愛知）</p>
1991	<p>「Post Human」FAE 現代美術館（ローザンヌ、スイス）/カステロ・ディ・リヴォリ（リバプール、イギリス）デステ現代美術財団（アテネ、ギリシア）/ ダイヒトア・ホール（ハンブルグ、ドイツ） 「キャビネット・オブ・サイン—ポスト・モダン以後の日本現代美術」テート・ギャラリー（リバプール、イギリス）/ ホワイト・チャペル・アート・ギャラリー（ロンドン、イギリス）/ マルメ美術館（スウェーデン） 「からだのイメージ—西洋と日本の人体表現」静岡県立美術館（静岡） 「芸術の日常—反芸術/ 汎芸術」国立国際美術館（大阪） 「Trans Art '91」銀座グラフィック・ギャラリー（東京） 「ハイブリッド・ガーデン: 現代美術6人展」ビギ・アートスペース（大阪） 「Zones of Love: Contemporary Art From Japan」東高美術館（東京）/ 西オーストラリア美術館（パース）/ 南オーストラリア美術館（アデレード）, ワイカト・アート・ミュージアム（ニュージーランド）/ ダニディン美術館（ニュージーランド）/ シドニー現代美術館（シドニー） 「Trans/ Mission」ローゼウム現代美術センター（スウェーデン） 「Metropolis」マルティン・グロピウス・バウ（ベルリン）</p>
1990	<p>「マニエラの交叉点: 版画と映像表現の現在」町田市国際版画美術館（東京） 「アートナウ—関西の80年代」兵庫県立近代美術館（兵庫） 「観念の刻印—1990、日本の版画、写真、立体」栃木県立美術館（栃木） 「スパイラル・テイク・アート・コレクション」スパイラル（東京） 「ミュージアムシティ天神 '90」イムズ12F（福岡） 「Japanische Kunst der Achtziger Jahre Llyn Foukes, Yasumasa Morimura, Arnulf Rainer」L.A. ルーバー・カリフォルニア（ロサンゼルス、アメリカ）/ フランクフルト芸術連盟（フランクフルト、ドイツ）/ ボン芸術連盟（ドイツ）/ ウィーン近代美術館（ウィーン） 「移行するイメージ—1980年代の映像表現」京都国立近代美術館（京都）/ 東京都国立近代美術館（東京） 「日本のコンテンポラリー—写真をめぐる12の指標」東京都写真美術館（東京）/ パヴィヨン・デザール（パリ、フランス） 「Tokyo a Paris」Pavillion des Arts（パリ、フランス） 「三人展—森村泰昌・小山穂太郎・石原友明」ギャラリー双（東京） 「脱走する写真—11の新しい表現」水戸芸術館（水戸） 「Camera Culture: Curriculum Vitae」Thomas Segal Gallery（ボストン、アメリカ） 「静物—言葉なき物たちの祭典」静岡県立美術館（静岡） 「Culture and Commentary: An Eighties Perspectives」ハーシュホーン美術館内彫刻庭園（ワシントン、アメリカ）</p>

ShugoArts

1989	<p>「Reorienting: Looking East」 サード・アイ・センター（グラスゴー、スコットランド）</p> <p>「51 year's Photography Exhibition」 ハイネケンビレッジ（東京）</p> <p>「テイク・アート・コレクション」 スパイラルガーデン（東京）</p> <p>「Euloparia '89-Japanese Contemporary Art 1989」 ゲント現代美術館（ベルギー）</p> <p>「Japanese Contemporary Art in the '80s」 ハイネケンビレッジ（東京）</p> <p>「Japanese Ways Western Means」 クイーンズランド・アートギャラリー（オーストラリア）</p> <p>「アート・エキサイティング '89—現在を越えて」 埼玉県立近代美術館（埼玉） / クイーンズランド美術館（ブリスベン、オーストラリア）</p>
1988	<p>「Against Nature; Japanese Art in the Eighties」 サンフランシスコ近代美術館（サンフランシスコ） / アクロン美術館（アクロン） / マサチューセッツ技術研究所（マサチューセッツ） / リスト視覚芸術センター（ケンブリッジ） / シアトル美術館（シアトル） / シンシナティ現代美術センター（シンシナティ） / グレイ美術ギャラリー&研究センター / ニューヨーク大学美術コレクション（ニューヨーク） / ヒューストン現代美術館（ヒューストン） / ICA 名古屋（名古屋）</p> <p>「East meets West: Japanese and Italian Art Today, ART/LA 88」 ロサンゼルスコンベンションセンター（ロサンゼルス、アメリカ）</p> <p>「男達の顔」, ギャラリー白（大阪）</p> <p>「43th La Biennale di Venezia Aperto '88」 (ヴェネツィア、イタリア)</p> <p>「アートナウ '88」 兵庫県立近代美術館（兵庫）</p>
1987	<p>「イメージの密約」 ギャラリーココ（京都）</p> <p>「現代美術になった写真」 栃木県立美術館（栃木）</p> <p>「Physical Property in Contemporary Art」 天野画廊（大阪）</p> <p>「November East wind」 P&P ギャラリー（ソウル, 韓国）</p> <p>「デテステなオブジェ展」 ギャラリービュウ（大阪）</p> <p>「Photography and its environs」 ギャラリー16（京都）</p> <p>「ライト・オン '87」 オン・ギャラリー（大阪）</p> <p>「トランスアートシーン Vol.2『バイオマップの交通図』」 ギャラリー16（京都）</p> <p>「現代美術における身体性」 天野画廊（大阪）</p> <p>「イエス・アート/ デラックス」 佐賀町エキジビットスペース（東京）, ギャラリー白（大阪）</p>
1986	<p>「パナーシュ: みせびらかし」 オンギャラリー（大阪）</p> <p>「アートフロント vol.2/25 のイメージ装置」 心齋橋パルコスタジオ（大阪）</p> <p>「月のアウラ」 ギャラリービュウ（大阪）</p> <p>「映像の両着生」 番画廊（大阪）</p> <p>「アール・ディ・フェラン: 絵画の異化光景」 ギャラリー白（大阪）</p>
1985	<p>「第4回京都美術工芸選抜展」 京都府立文化芸術会館（京都）</p>
1984	<p>「ラデカルな意志のスマイル, ギャラリー16（京都）</p> <p>「オレ達は寡黙じゃない、わかりますか」 ギャラリービュウ（大阪）</p>

その他の活動

2014	「ヨコハマトリエンナーレ 2014」の芸術監督を務める
1998	「テクノセラピー」（大阪中央公会堂）のプロデュースを務める

ShugoArts

受賞

2014	紺綬褒章
2013	京都市文化功労者
	紺綬褒章
2012	大阪市市民表彰
	紺綬褒章
2011	紺綬褒章
	第 52 回毎日芸術賞
	京都美術文化賞
	日本写真協会賞
	紫綬褒章
2008	2007 年度芸術選奨文部科学大臣賞
2007	第 25 回京都府文化功労賞
2003	織部章（岐阜）
2002	東川国内作家賞（旭川）
	日本文化デザイン賞
1990	咲くやこの花賞

パブリックコレクション

大分市美術館準備室（大分）
金沢 21 世紀美術館（金沢）
国立国際美術館（大阪）
栃木県立美術館（栃木）
カーネギー美術館（ピッツバーグ、アメリカ）
コンテンポラリーアート・ソサエティ（ロンドン）
デンバー美術館（コロラド、アメリカ）
原美術館（東京）
広島市現代美術館（広島）
いわき市立美術館（福島）
斎藤記念川口現代美術（埼玉）
町田市国際版画美術館（東京）
レイナ・ソフィア・アートセンター（マドリッド、スペイン）
東京都現代美術館（東京）
シカゴ現代美術館（シカゴ、アメリカ）
ファインアート美術館（ボストン、アメリカ）
豊田市美術館（名古屋）
財団法人直島福武美術館財団（香川）
和歌山県立近代美術館（和歌山）
名古屋市美術館（名古屋）
京都国立近代美術館（京都）
新潟市美術館（新潟）
ペインウェーバー（ニューヨーク、アメリカ）

ShugoArts

クイーンズランド・アート・ギャラリー（オーストラリア）
セゾン美術館（長野）
静岡県立近代美術館（静岡）
高松市美術館（香川）
栃木県立美術館（栃木）
徳島県立近代美術館（徳島）
東京都写真美術館（東京）
横浜美術館（神奈川）